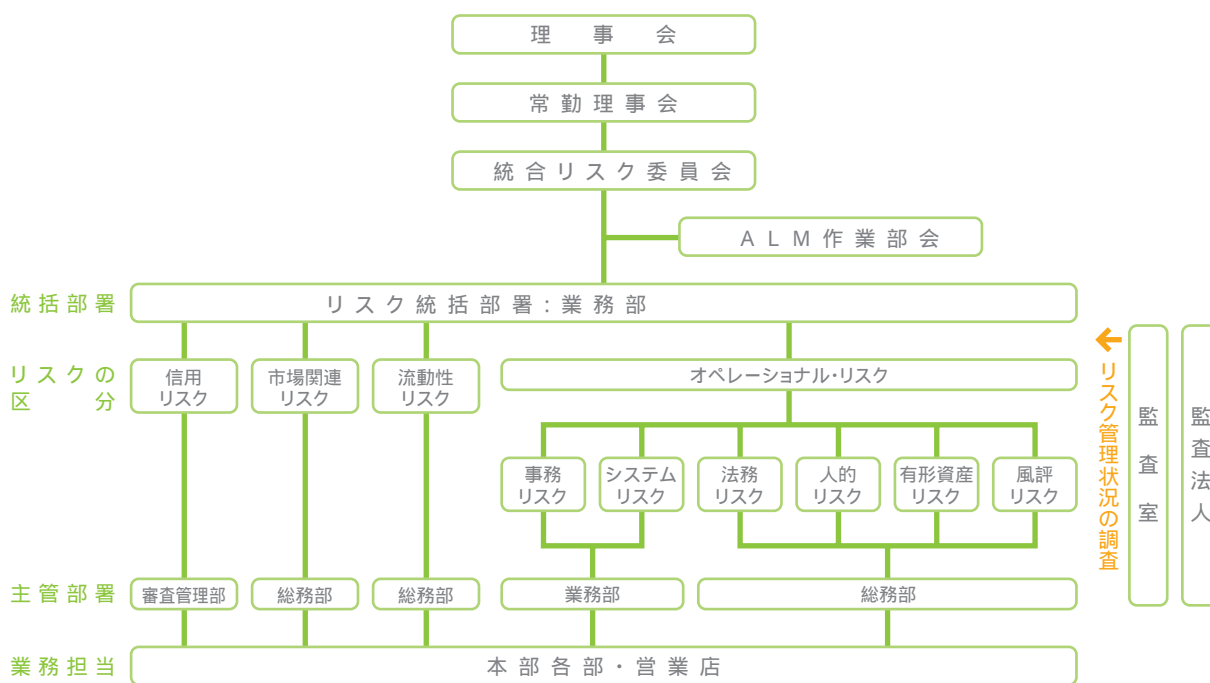


金融自由化、国際化の進展や金融業務のIT化、インターネット・携帯電話の急激な普及等に伴い、金融機関をとりまくリスクはますます拡大、多様化しております。当金庫では、「経営の健全性の維持」と「適正な利益確保」の双方のバランスがとれた経営を目指し、リスク管理体制の充実を重要課題のひとつと位置づけ、金融環境の変化に柔軟に対応できる体制の強化を進めております。

リスク管理体制



信用リスク	個人や企業への貸出金等が回収不能、または利息が回収できないことで発生する経済的損失リスクのことです。 当金庫では、融資業務の企画・推進部門と審査・管理部門を分離・独立させ、厳正な審査と健全な融資審査業務の運営に努めております。また、権限貸出基準や企業格付け等に基づき審査を行い、適切なリスク配分に配慮しております。更に、貸出金等については、「自己査定基準」に基づき、毎期適切な自己査定を実施し、その結果により適正な償却・引当を実施しております。
市場関連リスク	金利、有価証券の価格、為替などの市場変動により、当金庫が保有する資産の価格が変動し損失を被るリスクのことです。 当金庫では、市場リスク対応のため、「ALM作業部会、統合リスク委員会」を設置し、経済・金利見通しなどに基づいた分析を行い、運用・調達の方針を決定し、新規運用先の検討や資金運用基準と資金運用方針に基づいた運用が行われているかの分析・検討をしております。 *「ALM」とは、金融機関が経済情勢に応じた資産と負債の最適な組み合わせにより、収益の拡大とリスクの抑制のバランスをとりながら経営の健全性を維持することを目的としています。
流動性リスク	予期せぬ事態の発生等により資金繰りが悪化したり、不利な資金調達を余儀なくされることにより発生するリスクのことです。 当金庫は、常に適正な支払準備金を確保しており、資金繰りについても余裕を持った支払準備の態勢をとっております。万一の場合に備え、信金中金を中心とした信用金庫業界のバックアップ体制も整備されております。
事務リスク	当金庫では、事務ミスの発生を未然に防止するため定期的に勉強会等を開催し、職員レベルアップを図っております。また、監査部門による定期的な臨店検査を通じて内部監査の強化を図っております。
システムリスク	当金庫は、信金東京共同事務センターに加盟しており、オンラインシステムの運用を委託しております。同センターは、口座元帳ファイル・通信回線の二重化やバックアップセンターの設置等、災害時に備えたオンライン管理体制を整備しております。また、当金庫では、庫内ネットワークにつきましてもセキュリティ規程等を整備し、お客さまのデータ管理を厳正に行う管理体制を整備しております。
法務リスク	当金庫では、法的リスクに関する諸問題に関して、顧問弁護士等と協議・検討して慎重に対応しております。また、統合リスク委員会を通じて常勤理事会、理事会へと報告する体制をとっており、リスク管理体制の整備を図っております。
人的リスク	当金庫では、採用・昇進・給与・異動・人事考課・研修等、人事制度の不備による不公平等やセクシャルハラスメント等の問題につきましては、コンプライアンス委員会を通じて常勤理事会、理事会へと報告する体制をとっております。改善等を必要とする場合は、即時対応できる管理体制を整備しております。
有形資産リスク	当金庫では、災害等により有形資産に毀損・損害などが発生した場合に備え、危機管理マニュアルを制定しております。緊急時には、マニュアルに沿って対応できるようにしております。
風評リスク	当金庫では、「風評リスク管理要領」を作成し、全ての役職員が対応できる内部体制を整備しております。また、お客さまの苦情・お申出等につきましても窓口を統一し、十分な管理体制を確保しております。